



# 大安寺 護寺会だより



現 大安寺御本尊 釈迦如來座像

平成二十五年七月一日発行第十号  
発行責任者

大安寺護寺会理事長

北村 耕一

ホームページ <http://www.daianjji.net>



大安寺護寺会 会長  
大安寺住職 押見 俊哉

## 今年度上半期を過ぎて

檀信徒の皆様には、日頃より大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申しあげます。

平成二十五年度も上半期を過ぎようとしております。今年前半の行事は例年と同様でしたが、二月十五日の釈尊涅槃会法要の折に、法要を終えて引き続き、お寺の本堂でコンサートを開催致しました。檀信徒皆様にご案内を差し上げて、当日は本堂が埋め尽くされる盛会となりました。

檀信徒皆様にご案内を差し上げて、当時は本堂が埋め尽くされる盛会となりました。下半期にも恒例の行事が予定されておりましたが、

新しくお迎えする本尊さま（釈迦三尊像）の『鑿入れ式』が七月十日に行なわれました。この便りが発刊された時には既に終了しておりますので、次号にてその様子を特集したいと思います。

三年後の平成二十八年に新ご本尊さまを奉迎するべく、入檀信徒の皆様には奉賛金のお願いをして参りました。鑿入れ式は、式の開催までに奉賛頂いた方にご案内を差し上げます。新ご本尊さまと奉賛された皆様とのご縁を結んでは程れています。現在、本堂には本尊さまの原寸大の下図が壁に掛けられ、そのスケール感は、パンフレットの写真からで分かるくらいあります。その式です。本尊さまは、「釈迦三尊像」といわれる形式

で、中央がお釈迦さま。向かって右側に初祖の迦葉さま。左側が二祖の阿難さまが並んでお立ちになられます。この御姿は、お釈迦さまから愛弟子の迦葉さまへ禅の教えの真髓が伝えられた、その瞬間を表現したもので、禅宗のお寺の本尊さまとしてこれ程相応しいお姿はないでしょう。本尊さまは私共檀信徒の信仰の中心であり、お寺の宝です。檀信徒の総意でお迎えしたいですし、奉賛金のお願いを申し上げる次第です。奉賛者のご芳名簿は、本尊さまのご胎内に納めさせて頂きます。



左, 大仏師 江場 琳翫 中央, 御住職 右, 仏師 江場 琳觀  
えば りんこう えば りんかん

# 五觀の偈（偈文）



大安寺

僧侶 押見 清純

一には功の多少を計り、彼の來処を量る。

二には己が得行の全欠を付つて、供に應ず。

三には心を防ぎ過を離ることは、貪等を宗とす。

四つには正に良薬を事とするは、形枯を療ぜんが為なり。  
五つには成道の為の故に、今此の食を受く。

この偈文は食事の前にお唱えします。

この「五觀の偈」は、「いただきます」の言葉の意味を、丁寧に表したお唱えごとで、食事を頂くときの心構えを五つに分けて示しています。

偈文の意味は

一つには、この食事が出来るまでの多くの人の苦労と、その材料がどこから来たのかを考え、感謝して頂きます。

二つには、自分がこの食事を頂くのにふさわしい行いをしているか振り返ります。

三つには、正しい心で食事を頂くために欲張つて食べたり好き嫌いしたり、食べ物を粗末にしたりいたしません。

四つには、食事を体の健康を保つための良い薬としている 것입니다。

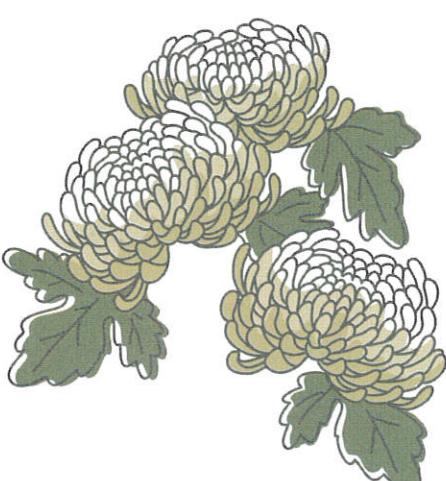
五つには、仏さまの教えを正しく行じ続けていくために、いまこの食事をいただきます。

ということです。

毎日の食事が目の前に出てくるまでには、多くの人の苦労があるはずです。料理することだけを考えてみても、大変な手間がかかります。材料を運ぶ人がいて、その前には、材料を作つたり採つたりする人がいるように、実際に多くの人の手がかかっているのです。

また、その材料はみな命を持った生き物です。肉や魚はもちろん、お米や野菜もみんな生きています。私たちは、そうした大切な命を頂かなくては生きていいくことが出来ないのです。

このように食事が出来るまでの多くの人の苦労と、その材料の命によって私たちは生かされていることをよく考え、感謝して食事を頂かなくてはなりません。





平成二十五年一月元旦

大安寺では、大勢の檀信徒と人類の幸福・世界平和・仏法興隆・家門繁榮等を祈願しました。参詣の檀信徒の皆さんには「大般若札」をお渡しいたしました。

## 元朝・大般若祈祷会

がんちょう

だいはんにや きどうえ



二月三日（日）午後六時から大安寺本堂において、厄払い追儺会の祈祷を行いました。多くの檀信徒が参加し、本厄・前後厄・交通安全・身体堅固・家内安全・商売繁盛等の祈願をしました。

## 厄払い追儺会

やく

はら

つけ

な

え



天瑞山大安寺の赤色の半天を着た本厄・合格祈願等の方が願いを込めての豆まきが行われました。（豆を多く拾うのも大変でした）

# 釈尊涅槃会

しゃくそんねはんえ



二月一五日（金）大安寺本堂において、釈尊涅槃会が行なわれました。

お釈迦様が入滅された命日です。お釈迦様をお偲びし、涅槃団子をお供えして無病息災を願いました。参詣者には涅槃団子をお持ち帰り頂きました。



三月二十日（水）  
お彼岸は、仏教の教えを実践する期間です。

同時にご先祖供養を致します。  
また、水子供養をご希望の方も  
お越し下さい。

# 春彼岸会・水子供養

はるひがんえみずくみよう



五月八日（水）  
釈尊降誕会が大安寺において、  
多数の方が参加して行なわれました。

恵庭幼稚園の大勢の園児に引かれて、お釈迦様を大安寺の本堂にお迎えしました。

「花まつり」です。  
白い象に乗ったお釈迦様に園児が甘茶をかけました。

# 釈尊降誕会

しゃくそんとうたんえ

# 理事会・總會



總會



理事会

平成二十五年一月三十日（木）大安寺大広間に於いて、理事会・総会を行いました。総会では理事・幹事が参加し、平成二十四年の決算報告、又平成二十五年の予算案について、審議され了承されました。

修えんえやご生涯などを詠讚歌を  
講員の皆様は、同行同  
志を同じくする人々  
てります。先生を学びに、その教えを実  
践えます。祖様を供養しきる力を得ること、ご  
てらぎ、ごうこことを目的とし

花方が寺海組花回和 位生教禪えは 教  
ま流々あ院外織流大二曹置活え師を、わ讚梅  
す詠がりにも化詠遠十洞づにを・お梅た歌  
。讚「、約含さ讚忌七宗け生学太釈花流  
歌講十六めれ歌を年のてかび祖迦流  
を員七四全まと記道御いす、瑩様讚の  
お」万〇国しし念元詠ま信仰し  
唱と六〇のたてし禪歌す。活動を常唱  
えし千の曹創て師は、活動を常唱  
して人講洞現設、七、梅百昭  
て梅の」宗在、梅百昭



梅花三流

### 三つの誓い

私達は梅花流詠讚歌を通して、正しい信仰に生きます。

をい歌くらもい信と、  
歩んとを共さにお仰  
んで願し通にれ、仲心共  
おり、学る清のすれ行  
ます梅ん術ら御。るを  
す花でをか教皆すす  
。の行にえ様ばらしの、  
詠き御正にとらしの、  
道た詠し照と



三足鼎

五县足

三具足と五具足  
仏具には、三具足と五具足といふ分け方があります。  
三具足とは、「三物具足」を略したもので、この三物というのが、香炉（線香立）、ロウソク立、花立です。それぞれが、一つずつ有るので、三物なのです。  
この三具足というセットで飾るやり方は、禪の教えと一緒に中國から伝わったとも言われています。  
これが、後に五具足という形になりました。五とは、香炉（線香立）が一つ、その左右にロウソク立が一つ、花立が二つで合計五つになる飾り方です。  
このように二つずつのセットになる形を「一対」と呼びます。  
前机などの広い机ですと五具足を飾りますが、小さな祭壇で行う法要のときには、三具足の場合もあります。  
そのときの置き方は、真ん中に香炉（線香立）、そしてその右側にロウソク立、左側に花立を置きます。

## 仙台について

六月二十六日、総勢二十八名大安寺婦人部研修旅行で、栗山のシャトレーゼに行つて参りました。途中、坂本九ちゃんの記念館を見学、運転手さんのがら目的地へ。お昼は、おいしい食事に舌づみ、お寺の若奥様の計らいでケーフバイキングを堪能。それぞれに、おしゃべりに温泉へと時間が経つのも忘れ、帰りは谷田のきびだんごの工場と小林酒造を見学。皆さん、たくさんお土産を買われ、帰路へ。また、九十五歳の野原さんのおばあちゃんは、誰の手も借りず行動し、私たちも元気を頂きました。

この企画は、中村ヨシノさんが、全て手配して下さいました。きっと皆さん楽しい想い出の一ページに残つた事でしょう。お天気にも恵まれ、何

## 婦人会の活動・研修会

会員 千葉 美智子



## 食事会



研修会

合掌

事もなく帰つてこられた  
事、研修委員として安堵  
しております。  
有り難うございました。

大安寺では檀信徒の先祖様の供養を永代行います。

「永代供養」

○日牌(毎日のご供養)

○月牌(月命日のご供養)

本堂永代供養位牌壇にご位牌を安置し、ご供養いたします。

## 永代供養

平成二十五年五月十九日（日）・二十日（月）の両日登別市第一滝本館で行なわれました。

日本の家庭でも愛されているカレーライス。元々はインドの代表料理とも言えます。

カレーの起源との説があります。

しかも、悟りの境地を開かれたお釈迦様が、民衆教化の第一歩を踏み出した地名が、「カリー」という地名だったとは單なる偶然でしようか。

## 北海道第二教区護持会 並びに研修会

「カレーとお釣り様！」



## 読經・写經の集い

四年になりました。多くの方が読經・写經の会に参加していきます。今後の予定

七月二十二日(日)	午後二時(午後三時半)
九月十一日(水)	午後二時(午後三時半)
十月十九日(火)	午後二時(午後三時半)
大安寺	大広間でおこないます。

一時、静かに坐つてみませんか。一度やつてみれば出来るものですが、坐禅には色々な作法もあります。多数の方に坐禅をお勧めいたしです。今後の予定

十月一日(火)	午後三時(午後四時半)
十一月一日(金)	午後三時(午後四時半)
大安寺本堂	でおこないます。

## 坐禅の集い

大勢の皆さん参加されました。

二月十五日(金)午後一時から大安寺本堂において、北海道歌旅座・昭和ノスタルジアのコンサートが行なわれました。

## 昭和ノスタルジア・コンサート



大安寺のホームページが開設されました。  
(<http://www.dainanji.net>)  
ここには大安寺の由緒・年間行事予定・現在と過去の活動、曹洞宗の教え、お寺からのお知らせ等が載せてあります。



## ホームページができました!

## 今年七月からの大安寺の予定

- 七月十日(水)午前十時 地蔵供養祭
- 八月十六日(金)午後一時 新ご本尊のみ入れ式
- 九月四日(水)午後六時 盂蘭盆会
- 九月五日(木)午前十時 両祖報恩会
- 九月二十一日(月)午後一時 特別大施食会
- 九月二十二日(月)午前十一時 大本山布教師様のお説教
- 九月二十二日(月)午前十一時 秋季彼岸会・水子供養
- 十二月八日(月)午前十一時 駕尊成道会
- 十二月八日(月)午前十一時 ご正當

## 私の健康法

つに半静作神にき冷  
てと紙か業をこはた走  
いつとなや集も至いり  
るて向作ラ中り福ビ終  
のはき業ンさ書で「え  
だ心合だニせ道あるて  
のうがシテる。の風  
広健そ、グ書姿勢夕  
報康の心と。を食酌か  
員ひ間無正昼正後のら  
ともに反間しはひ上  
M役、し対の部とがり  
Mか私ての農精屋とり、

もりんの・ルハ十毎のう午む野る妻安み西てヤの積kmにすと  
あにニ近五七マワ回日日。前し汗菜がのいだ瓜今て等夏に離とぐもなると  
花ソ所回十ライ近走の午中りをの言んじスヤ初る。年の野葉れれた十年へ向かう。さら  
をグやの歳ソホくつ体後いな流味自葉じやマトアで挑戦したゴ  
咲仲公大をンノのて調かつどしは分が頭なパトイモト成長は樂し。  
か間園会過もル大いとらばのな格が頭なパトイモト成長は樂し。  
せとを出ぎハル会る相はい作が別丹をいモト成るなどと育てたゴ  
な逢走場で回に。談ラは業らで精よ。で買つたゴ  
がいる。目ら走縄場いなニかし水る。て育てたゴ  
走お時指はし那し頃がシテり。育てたゴ  
るしにし年た覇てはらグでいい。育てたゴ  
やは「間」等い年ほ。しる。育てたゴ  
フた間ばそまと草